

第4回 疾病の成り立ちと回復の促進 参考問題2

第105回 PM78

生後1、2か月のDown〈ダウン〉症候群の乳児にみられる特徴はどれか。

1. 活気があり機嫌が良い。
2. 体重増加は良好である。
3. 筋緊張が強く抱っこしにくい。
4. 舌が小さく吸啜が困難である。
5. 哺乳の途中で眠ってしまうことが多い。

第96回 AM125

染色体異常と症状との組合せで正しいのはどれか。

1. ダウン症候群 ----- 筋緊張低下
2. ターナー症候群 ----- 高身長
3. 13トリソミー症候群 ----- 低身長
4. クラインフェルター症候群 -- 内眼角贅皮

第102回 PM27

ヒトの精子細胞における染色体の数はどれか。

1. 22本
2. 23本
3. 44本
4. 46本

第109回 AM59

配偶子の形成で正しいのはどれか。

1. 卵子の形成では減数分裂が起こる。
2. 精子の形成では極体の放出が起こる。
3. 成熟卵子はXまたはY染色体をもつ。
4. 精子は23本の常染色体と1本の性染色体をもつ。

第 100 回 PM73

ヒトの染色体と性分化で正しいのはどれか。

1. 常染色体は 20 対である。
2. 女性の性染色体は XY で構成される。
3. 性別は受精卵が着床する過程で決定される。
4. 精子は減数分裂で半減した染色体を有する。

第 101 回 AM7

先天異常はどれか。

1. 尋常性白斑
2. 急性灰白髄炎
3. 重症筋無力症
4. 心房中隔欠損症

第 113 回 AM55

出生体重 3,020g の正期産児。

新生児期に最もチアノーゼを生じやすい先天性心疾患はどれか。

1. 動脈管開存症
2. 心室中隔欠損症
3. 心房中隔欠損症
4. Fallot 〈ファロー〉四徴症

第 104 回 AM63

妊娠中の母体の要因が胎児に及ぼす影響について正しいのはどれか。

1. 飲酒の習慣による巨大児
2. 喫煙による神経管形成障害
3. 妊娠初期の風疹の罹患による先天性心疾患
4. ビタミン A の過剰摂取による低出生体重児